

受験番号: 33IPCN015

【問1】

【書類名】 特許請求の範囲

【請求項1】

目標検出方法であって、
目標を含む検出対象画像を取得することと、
予めトレーニングされた第1ニューラルネットワークを利用して前記検出対象画像の第1特徴情報を取得し、予めトレーニングされた第2ニューラルネットワークを利用して前記検出対象画像の第2特徴情報を取得することと、
前記第1特徴情報と前記第2特徴情報を組み合わせ、それにより組み合わせ特徴情報を取得することと、
前記第2ニューラルネットワークを利用し、前記組み合わせ特徴情報に基づいて、目標検出結果を取得することと、
を含み、
ここで、前記第2ニューラルネットワークは、
入力された前記検出対象画像に基づいて前記第2特徴情報を取得するために用いる特徴入力層と、
前記第1特徴情報と前記第2特徴情報を組み合わせ、それにより前記組み合わせ特徴情報を取得するために用いる第1特徴連合層と、
前記組み合わせ特徴情報に基づいて、目標検出結果を取得するために用いる目標検出層と、
を含む目標検出方法。

【請求項2】

請求項1に記載の目標検出方法であって、
第1ニューラルネットワークおよび第2ニューラルネットワークのトレーニングを含む目標検出方法。

【問2】

【背景技術】

人々の生活水準が向上するにつれ、健康という概念が徐々に多くの消費者に浸透してきており、それに伴い、「衣食住および交通手段」といった日常生活のあらゆる面において「健康、安全」がより重視されるようになっている。周知のように、身体の代謝によって発汗は非常に重要であり、我々の汗にはある程度の代謝老廃物が含まれているため、「発汗」はある程度の「解毒」作用を

有する。しかし汗の中に無機物が大量に堆積すると、皮膚の pH 値が変化し、皮膚になんらかの損傷を与える。

現在、織物への抗菌性付与は主に後処理法で行われており、そのプロセスは抗菌繊維を調整するよりも簡単で便利である。織物に応用される抗菌剤は多数あり、そのうちハロアミン抗菌剤はハロゲンを抗菌元素とするため、高効率な殺菌作用を発揮し、かつその化学構造における N-H と N-X 結合との変換によって「再生可能」という独特な抗菌性を実現することができ、これにより抗菌剤で処理されたほとんどの織物の抗菌性が使用時間の経過に伴って徐々に消失するという欠点を克服する。

【問3】

【発明を実施するための形態】

図1に示すように、本発明はシリンダヘッド加工用のバリ取り装置を提供するものであり、ベース1と、ねじ切りロッド2と、固定ベース3と、手動伸縮ロッド4と、第1回転モータ5と、第1コニカルギヤ6と、第2回転モータ7と、第2コニカルギヤ8と、コネクティングロッド9と、コネクティングプレート10と、ターンテーブル11と、硬質ブラシ12と、テーブル13と、シリンダヘッド本体14と、排出口15とを含み、ここで、ベース1の内側底部にテーブル13が固定ロッドで固定設置され、かつテーブル13の上方にシリンダヘッド本体14が嵌合接続する。

動作原理は以下の通りである。該シリンダヘッド加工用のバリ取り装置を使用する際、まず、加工するシリンダヘッド本体14をテーブル13に嵌合配置し、次に第1回転モータ5を起動して第1コニカルギヤ6を介して手動伸縮ロッド4を駆動して左右に動かす。

第2回転モータ7を起動して第2コニカルギヤ8を介して下方のターンテーブル11を駆動して回転運動させ、ターンテーブル11の下方の硬質ブラシ12はシリンダヘッド本体14に対して左右に動き加工を行い、より全面的にシリンダヘッド本体14のバリ取りを進める。